

保護者の皆様へ

鳴門市明神小学校長
阿部 隆博

平成29年度学校アンケートについて

日頃は、本校教育にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。本年度の児童・保護者アンケートの結果と改善策等をお知らせします。

次年度に生かしていきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。

1 本年度の学校評価結果について

アンケート番号

(1) 学力について 児童 1, 2, 3, 25 保護者 1, 2, 3,

○ 本年度も昨年度に引き続き、学力向上のために、全教職員が課題意識を持ち、指導方法の工夫・改善に取り組んだ結果、概ね良好であると思われる。

△ 児3では、思い通りの点数が取れている69%（昨年62%）とやや低い。

対策 指導方法の工夫・改善をさらに進め、より分かる授業を目指すとともに、個に応じた指導に努め、学力の定着を図る。

授業は、教員等の複数体制を取りたいが、教員数や学級の事情等により難しい。

(2) 体力づくりについて 児童 4, 保護者 4,

○ 児童は、休み時間や昼休み、始業前に、運動場で外遊びをしている。

元気っ子タイムを設定し、異学年集団で体力づくりに取り組んでいる。

△ 運動する子としない子の2極化が進んでいる。運動しない子は、少数であるが肥満傾向にある児童が多い。

対策 特に肥満傾向にある児童に関しては、運動する習慣を身に付けさせるとともに、家庭とも連携して、バランスの取れた食事やおやつの見直し等、食生活の改善も必要である。

夏休み前に、再度の検診結果通知（全校児童配付）。10月発育測定後、再度の受診勧告発行。

(3) 基本的な生活習慣について 児童 13, 14, 15, 保護者 11, 13,

○ 挨拶は、昨年と比べて良くなって来た。

あいさつ運動や週のためあてに取り入れて、全校体制で取り組んできた成果が出始めている。

△ 学校への来客等への挨拶は、自主的にできる児童がまだまだ少ない。

決まった時間に起きられている児童の割合が少し少ない。

対策 相手の目を見て、きちんと挨拶できるよう全教職員での指導を徹底する。

家庭・地域への啓発ももっと行う。幼小中一貫して取り組む。

(4) 基本的な学習習慣について 児童 5, 6, 7, 8 保護者 5, 6

○ 基本的な学習習慣は身につけている児童が多い。家庭学習もできている。

△ 授業に集中できない児童もいるが、机間指導や個別指導で対応している。

対策 家庭学習の手引きを見直し、分かりやすく・使いやすい物にした。今後も見直し、充実させていきたい。

家庭はもちろんのこと、スポーツ少年団指導者との連携も必要か。

(5) 規範意識について 児童 16, 17, 24 保護者 12, 18

○ 決まりを守る意識は高い。

※裏面に続く

△ 廊下を走ったり、トイレのスリッパを揃えたりすることは苦手な傾向にある。

対策 学校や家庭で基本的生活習慣を身につけさせるとともに、学校や社会の決まり・マナーを守る意識を高める指導やしつけを行う。

(6) いじめや生徒指導の問題について 児童19, 23 保護者14, 20

○ 「いじめは絶対にしない・させない・許さない」を合い言葉に、全教職員で学校生活を見守っている。不適切な言動については、その場で注意。

△ 普段の学校生活はもとより、校外（児童クラブ・スポーツ少年団・休日）で起こるケースがある。

対策 いじめアンケートを行い、回答内容を調査し、速やかに対応するよう心がけている。

(7) 自尊感情について 児童9, 10 保護者7, 8

○ 約8割が自尊感情を持っている。

△ 勉強や運動の苦手な児童は低い傾向にある。

対策 よいことをしたとき、頑張ったときにはもっとほめる。自己肯定感や有用感を高める指導に努める。

(8) 読書について 児童26, 保護者25

○ 読書タイムを設け、読書に親しませている。読書好きな児童は、毎日のように図書室で読書をしている。

△ 読書をする習慣が身につけていない。活字ばなれ。絵やイラストの多い本を選ぶ傾向にある。

対策 図書館サポーターやボランティアの方々が図書室の環境を整備してくれている。

児童にとって、魅力のある図書の充実を図る。家庭読書の日を設ける。

新聞に親しませる機会を増やす。

図書数を増やしたいが、書架等をおけるスペースが図書室には無く、学級文庫等で対応。

(9) 安全・防災について 児童21, 22 保護者18, 19

○ 交通ルールを守ることは、児童も自覚し、保護者も指導してくれている。

避難訓練時には、真剣に取り組んでいる。

△ たまに登校・下校時に、横断歩道を渡らない児童がいて注意した。

長期休業前や連休前には、交通安全、火遊び・危険個所での遊び禁止等の指導をしているが、児童によっては不十分な点もあった。

対策 巨大地震・津波に備えて、自分の命は自分で守ることを基本として、防災意識を高める。

親子で参加できる防災教室等を参観日に企画し、実施した。

家庭へより一層、安全面・危険防止等について啓発し、家庭の教育力を発揮してもらう。

(10) 学校生活について 児童20 保護者16, 17

○ 楽しく、学校生活を送っている児童が多い。

△ 不登校児童はいないが、諸事情で登校を渋りがちな児童は少数いる。担任は保護者と連絡を取り合い、登校を促し、登校できている。

対策 場合によっては、スクールカウンセラーとも連携し、対応している。

(11) その他

・地域行事への参加 児童18 保護者24 7～8割 地域の伝統や文化に触れる機会を

・子どもと将来のことを話す 保護者15 7割 子どもの自立心を育て、将来の展望を

・学校スローガン 保護者21, 23 毎回学校だよりに載せているが、認知率がまだ低い。

「みんなで育む 未来を拓く 明神っ子」